

令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
19	揖斐高等学校

学校教育目標	1 豊かでたくましい心と自ら学び、自ら考える力を育成する 2 知・徳・体の調和のとれた人格を養う 3 地域社会に貢献できる人間を育成する		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力を高め、学校生活のあらゆる場面で自ら学び・考え・行動できる生徒 多様な価値観を尊重し、仲間に対して心配りをしながら協働できる生徒 目標を達成するために挑戦し続けるとともに、「ふるさと揖斐」に貢献できる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 学校設定科目「揖斐Basic」と、ICTの活用や対話的な学習による、社会人として必要な基礎学力の定着と主体性・コミュニケーション能力の育成 生徒が自信をもって進路実現ができるよう、専門分野を深く学ぶために外部教育力を活用した出前授業や、自ら地域に飛び出しておこなう体験学習・地域交流・「デュアル実習」など、社会に開かれた教育課程の実施 規律ある学校生活や様々な学校行事や課外活動による、自らを律して行動する力と他者を思いやり尊重する心の育成と、社会貢献の精神の涵養 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の目標を実現するために専門性を高めようと努力する生徒 仲間を思いやり・気づかい、コミュニケーションを大切にする生徒 自然豊かな揖斐で学び、将来もふるさと揖斐に貢献したい生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 基礎学力の定着 (1) 学び直しの機会を保障 (2) 学習指導の工夫・充実 (3) 言語活動の充実	① 学校設定教科「揖斐 Basic」により基礎学力の定着を図る。 ② ICTや学びの基礎診断等の結果を活用した授業研究を推進し、創意工夫ある授業を実践する。 ③ 言語活動を重視して発問を工夫し、思考力・判断力・表現力を育成する。		① 学びの基礎診断の結果と「揖斐Basic」の検証 ② 学校評価アンケートの肯定的評価（A・B）90%以上 ③ 授業アンケートと授業への参加姿勢
2 キャリア教育の充実 (1) 自己有用感の高揚を支援 (2) 適切な進路情報の提供 (3) 専門教育を生かした学力向上と自己実現の支援	① 外部教育力を活用した教育活動を通して、生徒が自信をもって進路実現できるように支援する。 ② 上級学校見学会や進路ガイダンスを実施し、適切な進路情報の提供を行う。 ③ 専門分野に関する基礎的・基本的な知識・技術の定着を図るとともに、多くの体験学習・地域交流やデュアル実習、揖斐高ジョブ、学習成果発表会を実施し、生徒が自己表現できる場を設ける。		① 外部の教育力による事業の実績と参加者のアンケート ② 参加者のアンケート ③ デュアル実習参加者 普通科2割程度 就職者における揖斐郡内就職率80%以上
3 豊かな人間性の育成 (1) 基本的生活習慣を確立 (2) 命を大切にする態度を育成 (3) 地域に貢献する態度を育成 (4) 健全な身体と精神を育成	① きめ細かな生徒指導と教育相談の実施により、基本的生活習慣を確立し、端正な身だしなみと品位ある生徒を育成する。 ② 自他ともにかけがえのない存在であると認め、他者を思いやり尊重する心を育成する。 ③ 地域ボランティアに積極的に参加し、地域に貢献する態度を育成する。 ④ 部活動を活性化し、心身の健全な育成を目指す。		① 年間の欠席・遅刻・早退者数の前年度比5%減、生徒の姿 ② 心のアンケート ③ 各種ボランティア参加者数、生徒の姿 ④ 部活動継続率70%以上と活動実績